

滋賀県内の「道の駅」について

大手旅行会社によると、今夏は株高や円安の影響で国内旅行が好調だったという。滋賀県内には、歴史・自然などの観光資源が数多くあるが、今回は、県内の主要な観光施設として20年を迎えた「道の駅」についてみてみたい。

1. 「道の駅」には3つの機能がある

(1) 「道の駅」の概要

「道の駅」は、国道や地方幹線道沿いに立地している道路交通法上の休憩施設である。自動車普及率の上昇とともに、一般道路にも安心して自由に立ち寄れる快適な休憩空間へのニーズが高まり、これにこたえるために設置されるようになった。平成5年に全国で103箇所が登録されて以来、現在では1,000箇所以上が登録されている。

(2) 「道の駅」の機能

道の駅には、「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域の連携機能」といった3つの機能が備わっている(図表1-1)。トイレなどの基本施設の他、レストランや公園、温泉・宿泊施設が利用できる所や、物産販売では、郷土芸能や朝市・展覧会などのイベントが催されている所がある。また、様々な情報発信により利用者との交流が図られている。

図表1-1 「道の駅」の3つの機能

機能	具体的な内容
①休憩機能	24時間利用可能な電話や清潔なトイレ、ゆったりした駐車場の基本施設。
②情報発信機能	情報ステーションとして、道路情報や歴史・文化、名産品、観光地などを紹介する案内板や資料館、物産販売コーナー。
③地域の連携機能	「道の駅」をきっかけに、まちとまちが手を結んで活力ある地域づくりに取り組む。 駅相互の連絡の強化により、経営内容の改善やサービスの向上、機能の補充により、利用者に安心や魅力を与える。

(3) 設置基準

「道の駅」ができるまでの流れとして、まず、市町村等の「地域振興施設等の計画・構想」と道路管理者の「休憩施設の計画・構想」をもとに、「道の駅」に関する協定が締結される。その後、整備計画の策定、施設等の整備などの条件を満たすと、国土交通省に登録され、開業できることとなる。

設置にあたっては、道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設として、概ね次の条件を満たす必要があり(図1-2)、該当しないと認められる場合には登録が取り消しとなる可能性がある。

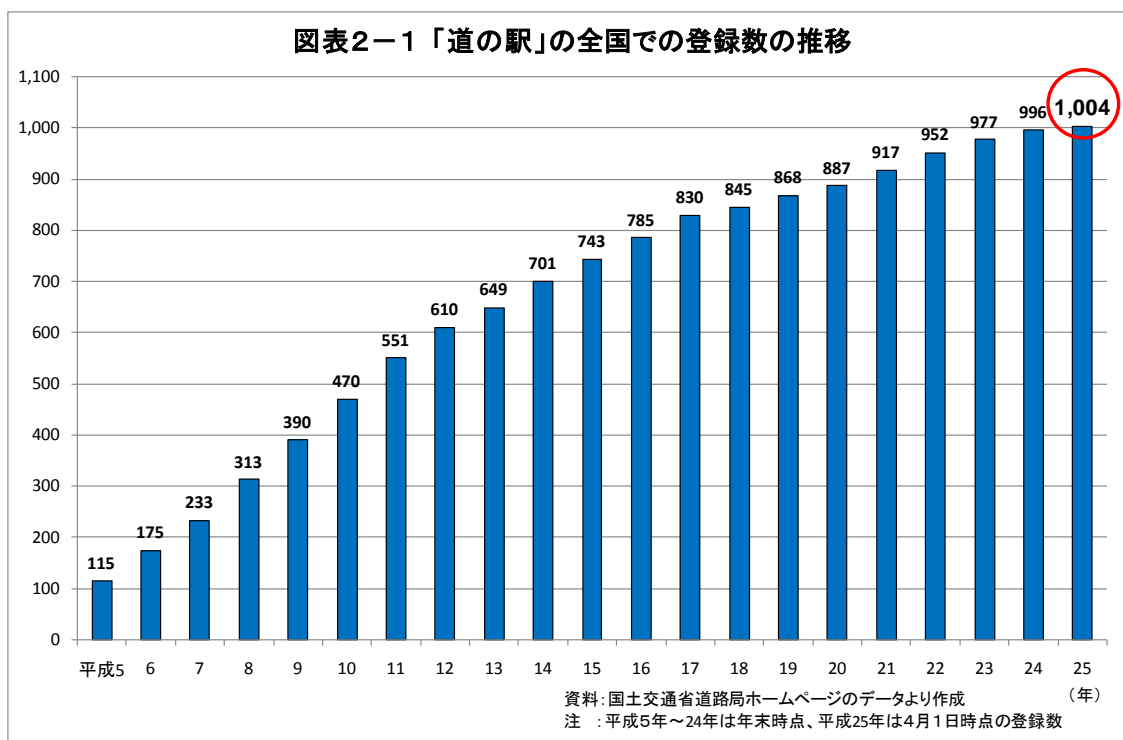
図表1-2 「道の駅」の登録・案内要綱と運用方針のポイント

項目	ポイント
設置位置	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩施設として利用しやすいこと ・「道の駅」相互の機能分担の観点から、適切な位置にあること。
施設構成	<ul style="list-style-type: none"> ・無料で利用できる十分な容量の駐車場（概ね 20 台） ・清潔なトイレ（便器数は概ね 10 器以上） ・歩行経路のバリアフリー化 ・案内・サービス施設と一体化（駐車場から徒歩 2、3 分程度の距離）
提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、トイレ、電話は 24 時間利用可能であること。 ・案内員の配置と情報提供のための空間確保、積極的な情報提供（道路情報、近隣の「道の駅」情報、近隣地域を含めた観光情報、緊急医療情報、その他）
設置者	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村または市町村に替わりうる公的な団体（都道府県、地方公共団体が 1/3 以上を出資する法人、その他市町村が推薦する公益法人）
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、年少者、高齢者、身障者などの使いやすさに配慮 ・景観を損なうことのない計画

2. 「道の駅」の登録数

(1) 全国の登録数は 1,004 箇所

平成 5 年 4 月には第 1 回として全国で 103 箇所が登録された。以降、39 回の登録により登録数は年々増加している。20 周年を迎えた平成 25 年 4 月 1 日現在では、全国で 1,004 箇所が登録されている（図表 2-1）。



(2) 滋賀県の登録数は全国 28 位タイの 16 箇所

「道の駅」の登録数を都道府県別にみると(図表2-2)、「北海道」が 114 箇所でもっとも多く、2位は「岐阜県」(54 箇所)、3位は「長野県」(41 箇所)となっている。最も少ないのは1箇所のみ「東京都」だが、登録ゼロの都道府県は無い。

「滋賀県」の登録数は 16 箇所、全国 47 都道府県中で 28 位となっている。近畿2府4県中では、「兵庫県」(31 箇所)、和歌山県(25 箇所)に次ぐ3位と、いずれも中位となっている。

図表 2-2 都道府県別の登録数

順位	都道府県	登録数	順位	都道府県	登録数
1	北海道	114	25	山形	17
2	岐阜	54	25	山梨	17
3	長野	41	25	広島	17
4	新潟	36	28	滋賀	16
5	兵庫	31	28	岡山	16
6	岩手	30	28	福岡	16
6	秋田	30	28	宮崎	16
8	島根	28	32	愛知	15
9	青森	27	32	三重	15
9	群馬	27	32	京都	15
11	福島	26	32	徳島	15
12	和歌山	25	36	富山	14
12	愛媛	25	37	宮城	12
14	千葉	23	37	奈良	12
14	熊本	23	37	鳥取	12
16	石川	22	40	福井	11
16	大分	22	41	茨城	10
18	栃木	21	42	長崎	9
18	静岡	21	43	大阪	8
18	高知	21	43	佐賀	8
21	山口	20	45	沖縄	7
22	埼玉	19	46	神奈川	2
22	鹿児島	19	47	東京	1
24	香川	18	—	合計	1,004

資料：国土交通省

3. 滋賀県内の「道の駅」

(1) 地域別では、「高島市」が最多の4箇所

滋賀県内の「道の駅」の登録状況を見ると（図表3-1）、第1回（平成5年4月22日）に「あいの土山」など3箇所が登録された。最も新しいのは、第37回（平成24年3月26日）に登録された「せせらぎの里こうら」である。

設置者は「びわ湖大橋米プラザ」の滋賀県を除いて、地元市町となっている。

所在地を市町村別にみると、「高島市」が4箇所でもっとも多く、「米原市」と「栗東市」（各2箇所）の他は、1箇所となっている。地域別では、「湖北」と「湖西」が各4箇所でもっとも多く、次いで「湖南」（3箇所）、「東近江」（2箇所）、「大津」「甲賀」「湖東」（各1箇所）となっている。

図表3-1 滋賀県内の「道の駅」一覧

番号	登録年	駅名	設置者	所在地	路線名
滋01	平成5年	あいの土山	甲賀市	甲賀市土山町2900	国道1号
滋02	平成5年	くつき新本陣	高島市	高島市朽木市場777	国道367号
滋03	平成5年	しんあさひ風車村	高島市	高島市新旭町藁園336	国道161号
滋04	平成8年	東近江市あいとう マーガレットステーション	東近江市	東近江市妹町184-1	国道307号
滋05	平成8年	びわ湖大橋米プラザ	滋賀県	大津市今堅田3-1-1	国道477号
滋06	平成8年	近江母の郷	米原市	米原市宇賀野1364-1	主要地方道 大津能登川長浜線
滋07	平成8年	こんぜの里りっとう	栗東市	栗東市荒張1-11	主要地方道 栗東信楽線
滋08	平成14年	湖北みずどりステーション	長浜市	長浜市湖北町今西1731-1	県道湖北長浜線
滋09	平成14年	草津	草津市	草津市下物町1436	県道近江八幡大津線
滋10	平成15年	竜王かがみの里	竜王町	蒲生郡竜王町大字鏡1231-2	国道8号
滋11	平成15年	アグリノ郷栗東	栗東市	栗東市出庭961-1	県道片岡栗東線
滋12	平成16年	マキノ追坂峠	高島市	高島市マキノ町海津897-27	国道161号
滋13	平成17年	藤樹の里あどがわ	高島市	高島市安曇川町青柳1162-1	国道161号
滋14	平成17年	伊吹の里	米原市	米原市伊吹1732-1	主要地方道 山東本巢線
滋15	平成21年	塩津海道あぢかまの里	長浜市	長浜市西浅井町塩津兵1765	国道8号
滋16	平成24年	せせらぎの里こうら	甲良町	犬上郡甲良町金谷1549-4	国道307号

資料：国土交通省

(2) 県内観光入れ込み客数ベスト30に7箇所がランクイン

「平成23年滋賀県観光入込客統計調査書」の「観光入込客数ベスト30」をみると、「藤樹の里あどがわ」（7位）をはじめとして、7箇所の「道の駅」がランクインしている。この他、過去に遡ると「竜王かがみの里」が平成22年、「草津」が平成20年にランクインしており、県内における「道の駅」の観光施設としての人気の高さがうかがえる。

図3-2 滋賀県内の主要な観光施設（入込客数ベスト30）

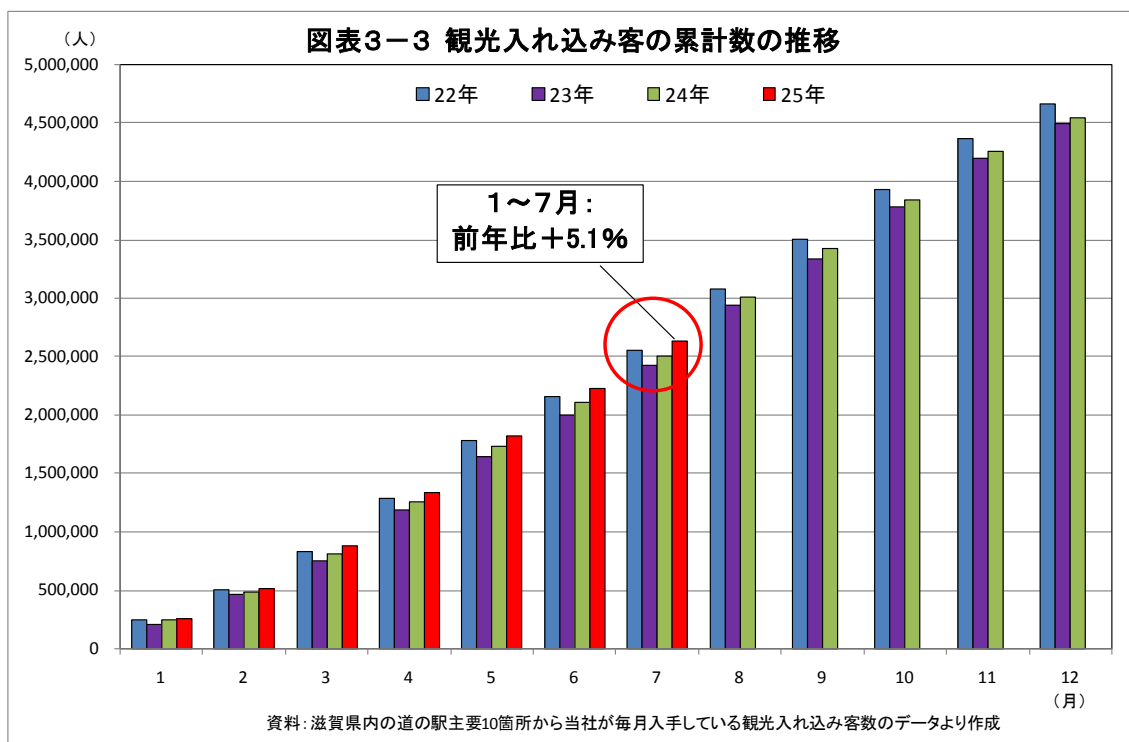
順位	観光地名	市町名	入込客数(人)
1	黒壁ガラス館	長浜市	2,654,600
2	多賀大社	多賀町	1,599,900
3	江・浅井三姉妹博覧会	長浜市	1,186,900
4	豊公園	長浜市	1,025,300
5	長濱オルゴール堂	長浜市	841,800
6	彦根城	彦根市	826,700
7	道の駅 藤樹の里あどがわ	高島市	792,000
8	比叡山ドライブウェイ	大津市	721,000
9	滋賀県希望が丘文化公園	野洲市、湖南市、竜王町	657,400
10	日牟禮八幡宮	近江八幡市	634,000
11	比叡山延暦寺（延暦寺会館含む）	大津市	617,100
12	八幡堀	近江八幡市	596,600
13	道の駅 湖北みずどりステーション	長浜市	527,500
14	矢橋帰帆島公園	草津市	505,200
15	道の駅 びわ湖大橋米プラザ	大津市	471,100
16	道の駅 東近江市あいとうマーガレットステーション	東近江市	463,300
17	奥比叡ドライブウェイ	大津市	452,500
18	マキノ高原・さらさ	高島市	451,700
19	ファーマーズマーケットおうみんち	守山市	450,400
20	道の駅 伊吹の里	米原市	390,700
21	近江神宮	大津市	382,000
22	滋賀県立琵琶湖博物館	草津市	372,100
23	びわ湖大花火大会	大津市	350,000
24	道の駅 くつき新本陣・日曜朝市	高島市	345,100
25	道の駅 塩津海道あぢかまの里	長浜市	335,900
26	びわ湖鮎家の郷	野洲市	335,600
27	琵琶湖ホテル	大津市	320,000
28	あがりゃんせ	大津市	310,100
29	夢京橋キャッスルロード	彦根市	304,900
30	滋賀県立陶芸の森	甲賀市	297,500

資料：滋賀県「平成23年滋賀県観光入込客統計調査」
（公開了承施設についてのみ掲載）

(3) 今年の入れ込み客数は前年比 5.1%で推移

当社では、県内の「道の駅」主要 10 箇所から、毎月観光入れ込み客数のデータを入手している。そのデータをもとに、年別の観光入れ込み客の累計数の推移をみると、過去 3 年間では平成 22 年が最も多く、翌 23 年には 3.8% 下落した。平成 24 年は前年比 +1.2% で回復したが、2 年前には届かなかった。

今年（平成 25 年）は 1 月から順調に推移しており、株高や円安の影響もあってか、7 月時点での累計数で 2,629,811 人（前年同期比 +5.1%）となっている。平成 22 年と比べても 3.0% 上回っており、今年は過去 3 年間を超えることが期待される。



4. 地域振興や防災など、多方面での役割に期待

「道の駅」が設置された当初はドライバーの休憩場所としての色合いが濃かったが、特色のある地元製品の取り扱いやイベント開催により、今では観光客だけでなく地元住民にとっても重要な購買の場となっている。今年は観光入れ込み客数が好調で推移しているが、景気の影響だけでなく、こうした施設管理者の工夫が消費者を惹き付けていることを忘れてはならない。消費者が食の安全や品質を重視し、また農業が成長産業として注目されている昨今、「道の駅」に託される地域振興の期待は大きい。この他にも、近年相次ぐ大型の自然災害に対応するための地域の防災拠点としても注目されており、今後、多方面でさらに重要な役割を果たす施設になると思われる。各駅の動向に注目を続けたい。

以上

平成 25 年 10 月
 (株)しがぎん経済文化センター
 経済リサーチ部 中村